

# 学校のクラブ活動における過去と現在の体罰を比較して

中村 宣彦 (生涯スポーツ学科 地域スポーツコース)

指導教員 金田 安正

キーワード：体罰，指導死

## 1. 緒言

最近，大阪府桜ノ宮高校バスケットボール部をはじめ，女子柔道，天理大学柔道部の体罰問題により，体罰による問題をよく耳にする．体罰による問題は今に始まったものではなく，昔から問題とされている．

そこで過去と現在の体罰の事例を比較して，指導の違いを研究する．また，そこから見える体罰を無くすための指導法を考えていくことを目的とする．

## 2. 研究方法

運動部活動における，体罰がどのように考えられているか，体罰をなくすためには何が必要なのかを研究するために，「体育科教育」や「体育の科学」，「指導死」などの文献を元に研究をしていくことにする．

## 3. 結果と考察

過去と現在の体罰の事例を比較する．体罰の事例として，体罰による指導を苦しめて自殺（指導死）をしてしまった事例を取り上げる．

### (1) 過去の事例

- 1) 岐阜県立中津商業高校 陸上部による体罰
- 2) 大阪府羽曳野市立河原城中学校 ソフトボール部による体罰

### (2) 現在の事例

- 1) 群馬県高崎市東京農業大学第二高等学校 ラグビー部による体罰
- 2) 大阪府大阪市立桜宮高校 バスケッ

## トボール部による体罰

### (3) 事例の分析

事例で挙げたものは，殴るや蹴る，暴言といったことが日常茶飯事におこなわれていたことである．これは，過去と現在に関わらず，おこなわれている．これは部活動が勝利至上主義になっていたためである．

### (4) 考察

体罰がなくなるためには，何が必要なのか解決策を考えていくことにする．

#### 1) 顧問の指導力の向上

専門的な知識を身につけ，生徒を説得させるための話術が必要である．

#### 2) 生徒と顧問の関係

生徒と顧問の関係が，一方的な関係でなく，双方向的な関係になることが必要と考える．

#### 3) 教師を育成するシステム

教師を目指す大学生に対して，体罰の問題点を徹底的に指導して，体罰を否定させることが必要と考える．

#### 4) 親の指導に対する意識

親が子どもの部活動に対して，もっと関心を持つことも大事である．

## 4. まとめ

体罰は学校教育法第11条で禁止されているにも関わらず現在においても，おこなわれている．筆者の考える4つの解決策により体罰はなくなると考える．